

# HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会 長 神崎達朗 幹 事 小清水正義 会報委員長 安部信三



Reach Within to Embrace Humanity  
心の中を見つめよう 博愛を広げるために

2011年～2012年度国際ロータリー会長  
カルヤン・パネルジー

第1287回例会 2012年5月31日(木)(曇)

司 会 瀬戸 誠副幹事

点 鐘 神崎達朗会長

合 唱 「奉仕の理想」(北村まり子さん)

唱 和 「四つのテスト」(高橋幸雄君)

ビジター紹介 古谷義幸様(秦野市長) 片野新治様(秦野市  
秘書課) 山田 悟様(オブザーバー)

祝結婚記念日 大屋君(5/27)

祝創業記念日 北村(ま)さん(5/28)

## 会長報告

○ 今年度も残すところ1カ月になり、ガバナー事務所よりの報告事項も少なくなってきました。本日は古谷義幸秦野市長においで頂き、お話をして頂きます。お忙しい中、ありがとうございます。

◎ 新会員研修会・修了証授与

- ・北村俊和君
- ・伊藤彩夜加さん



## 幹事報告

[週報受理] 茅ヶ崎 川崎

[受付文書]

- RI日本事務局財団室NEWS(回覧)
- フィリピン・アフリカを助ける会より、フィリピン・アフリカを助ける会だよりが届きました。
- 社会福祉法人ビーハッピーより、支援金へのお礼状(回覧)
- 国際ロータリー日本事務局経理室より、6月のレートのお知らせ 1ドル=80円

[本日の配布物] 「フィリピン・アフリカを助ける会だより」「ロータリーの友」

- 6/28(木)最終例会は夜間例会です。

点 鐘 18:00

場所 秦野商工会議所

## スマイル報告

- 神崎達朗君 「古谷秦野市長、お忙しい中、ありがとうございます。本日、講話を宜しく願います。山田さん、ようこそ秦野名水へ」
- 小清水正義君 「古谷市長、本日はお忙しい所ありがとうございます」
- 諸星常平君 「古谷市長、ようこそ名水へ！市長講話宜しくお願いします」
- 桐山晃忠君 「新しい友を作り、老後は忙しいのが長生きするようです。でも“疲れ”は良くないようです」

会員数	40名
出席数	31名
出席率	79.49%
前々回の修正	81.18%

メークアップ	[事前] 高橋(修)君(地区)
	[事後] 木村さん 相原君 北村(俊)君(秦野) 加藤君(秦野)

本日のプログラム	6月7日
	○ クラブ協議会
	各委員会活動報告
	○ 理事会

次週のプログラム	6月14日
	○ クラブ協議会
	各委員会活動報告

- 大屋富茂君 「結婚祝い、ありがとうございます。40年を経過し、すっかり冷めた？夫婦となった現在です」
- 北村まり子さん 「創業記念の祝い、ありがとうございます」
- 河野治男君 「今泉名水桜公園ゴミ拾い、全員集合ご苦労様でした」
- 多田嘉之君 「古谷市長ようこそ！」
- 木村眞澄さん 「皆様ご無沙汰しております。市長、今日はようこそ秦野名水RCへ。歓迎いたします」
- 前 肇君 「山田さん、ようこそ。僕に初めてのスポンサーバッジをありがとう！」
- 淵脇美代子さん 「ゴミゼロ運動、皆様お疲れさまでした。スマイルします」

合計 25,000 円

### 委員会報告

- 25周年記念実行委員会 三留文雄委員長  
5/17 実行委員会報告
  - ① 原田直之氏への打ち合わせは神崎総務委員にお願いする。(内容は講演を主に、出演料はなるべく低く等々)
  - ② 友好クラブ(古河東RC)との締結式を行う。
  - ③ 登録者には“記念品”を贈る。
- ※次回の実行委員会は6/14(木)、例会終了後開催いたします。
- 瀬戸 誠副幹事  
本日例会終了後、次年度理事会を開催いたします。

### 卓話

「秦野市の現状について」

古谷義幸秦野市長



本日は、ご招待ありがとうございました。

まず、水資源の問題をお話しますが、水には限りがあります。世界の水のうち、真水として使えるのはごくわずかです。秦野市には3億トンといわれる地下水がありますが、本市の財産ともいべき水を守っていかなければならないと思います。水の問題を知ってもらおうと、今年は、水に関した取り組みを考えています。そして、水の大切さをあ

らためて考えるきっかけとしたい。

次に、人口問題ですが、現在地方は、人口流出などによる過疎化で苦しんでいます。過疎化により、田、畑、山を守る人もいなくなります。このことは、政治の責任であり、国を貧しくしていると思います。地方が人口問題で苦しんでいる中、本市は17万人前後をキープしています。出生率の低下による自然減の中、人口が減少しないのは、雇用の確保があるからこそです。人口減少を防ぐため、交通などの利便性の確保をはじめ、10年後にも、人口169,000人を維持できるような取り組みを続けていきたい。

次に、今年度の施政方針について少しお話ししたいと思います。

今年度は、『大根川ポンプ場建設』や『浄水管理センター増設』、また、秦野市伊勢原市環境衛生組合の『クリーンセンターの建設』などの大型のハード事業が仕上げの時を迎えます。過去を捉え、未来を見据えて、その礎を築くことは、とても大切なことです。現在のもとより、将来を生きる市民の生活の安全・安心を一層充実させるため、次の3点を機軸として、市政運営に取り組んでいきます。

まず1点目は、「次代を担う子どもたちのための子育て支援」です。少子化が急速に進み、深刻な社会問題になっている昨今、子育てをする両親、そして、「はだのっ子」にとって優しく温かいまちにするため、思いを込めて、子育て支援に取り組んでいきます。そして、子育てにかかる経済的負担や、安心して子育てができる環境の整備など、優先順位も考慮しながら、着実に取組むことで、「秦野で子育てをして暮らしたい」と選択してもらえるようなまちを目指したいと思います。

2点目は、「市民力・地域力・職員力による地域の活性化」です。将来のまちづくりの一翼を担って頂く、市民力、地域力の支援、職員力の育成に力を注いでいきたい。すでに、「実朝まつり」、「七福神と鶴亀めぐり」など、地域主体で取組んでいる事業もありますが、こうした地域の積極的な取組みを歓迎し、できる限りの支援をしていきたいと思っています。まちづくりは、役所だけでは無理、これまでも地域と一緒にやってきたし、これからもそうしたい。

3点目は、「地域の魅力ある資源を生かしたまちづくり」です。

本市の財産であり、地域の宝でもある里地里山や豊かな自然を生かし、若い世代の定住促進を図ることで、地域の人口を増加させる施策や、新東名高速道路のインターチェンジやサービスエリアの設置といった新たな要因を活用し、周辺の地域活性化、観光振興などに努めていきたい。大都会に近い、やすらぎのある観光地にできればと思います。

最後に、名水ロータリーの皆さんには、市政へのご理解とご協力をお願い申し上げ、私からのお話とします。

ご清聴有難うございました。